

特集

社会資本の 戦略的な維持管理

～維持管理の高度化・効率化～

我が国のインフラは、高度経済成長期以降に整備されており、今後、建設から50年以上経過する施設の割合は加速度的に増加する見込みであり、このように老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新することが求められています。

このことから、近年では、従来の手法よりさらに効率的・効果的に維持管理を行うため、構造物の現状をデジタル写真や3Dレーザースキャナー、電磁波レーダーなどで計測し、データ化した後に、データ解析によって異常箇所を見つけたり、原因を探ったりする手法が採用され始めています。

今号の特集では、総論として「持続的、効率的なインフラメンテナンスの推進」について概説を掲載するとともに、各事業による維持管理業務の高度化・効率化に向けた地方整備局、地方公共団体の具体的な取組事例や地方公共団体に対して支援を行った事例等について紹介します。

特集担当：高原 洋介

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
インフラ情報・環境企画室 課長補佐



コンクリートが劣化し鉄筋が露出した海岸保全施設
(本号 P22～24「海岸保全施設の老朽化対策の最新の動向」より)



CONTENTS

持続的・効率的なインフラメンテナンスの推進	8
東京都におけるトンネル点検の高度化・効率化に向けた取組	13
AI解析手法を用いたダム堤体コンクリート診断	16
維持管理を起点とした下水道ストックマネジメント実現に向けて	19
海岸保全施設の老朽化対策の最新の動向	22
新技術を活用した水産基盤施設の効率的な点検	25
ロボット技術等で地方公共団体の道路橋点検を推進	28
インフラメンテナンス国民会議における自治体支援	31